

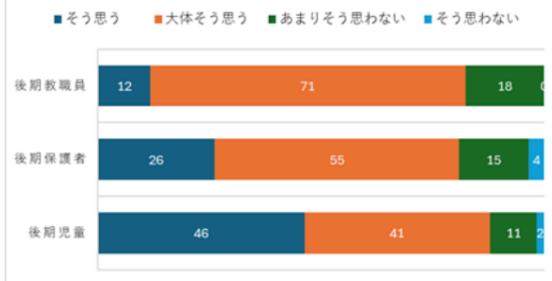
# 令和7年度 後期 学校評価アンケート集計結果

実施期間：令和8年2月13日～2月20日

令和8年3月13日  
京都市立京極小学校  
校長 足立 素子

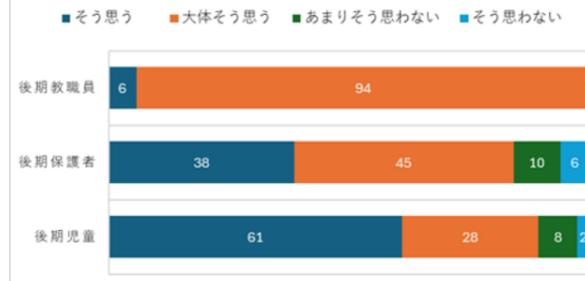
令和7年8月末～1月末までの児童の様子や学校の取組を見ていただき、2月中旬に、児童・保護者・教職員を対象に学校評価アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。主に前期の結果と比べて考察をしました。尚、⑪⑫⑬⑭については児童対象の質問項目はありませんので表示していません。

## ① 基本的な生活習慣が身についている



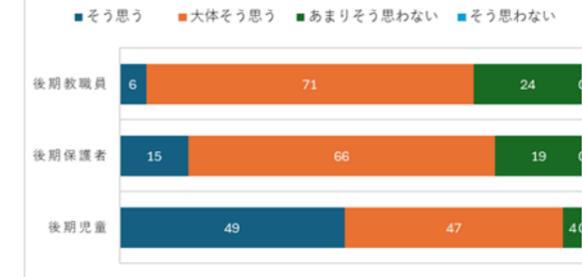
保護者、教職員共に概ね身につけていると回答しています。ただ、前期と比べ、後期はあまり身につけていないと回答している教職員の割合が高くなっています。それには、忘れ物が多いことや、早寝・早起きができていないことが考えられます。予定表の確認や生活リズム調べの活用などをしていきます。

## ② 学校へ行くのを楽しみにしている



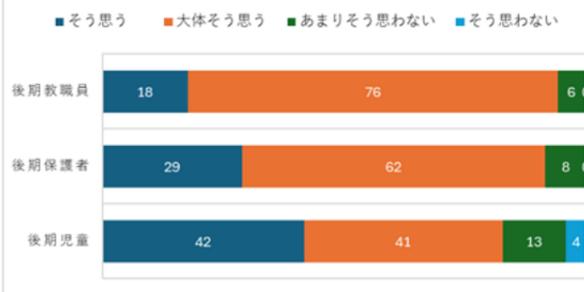
前期と比べると後期は、教職員で「そう思う」と回答した割合が高くなっています。児童も前期より「そう思う」「大体そう思う」の割合が少し高くなりました。今後も全校児童が安心してすごせる学校・学級経営をしたり、学校に行くのを楽しみを感じるような取組をしたりしていきます。

## ③ 人の話をしっかりと聞いている



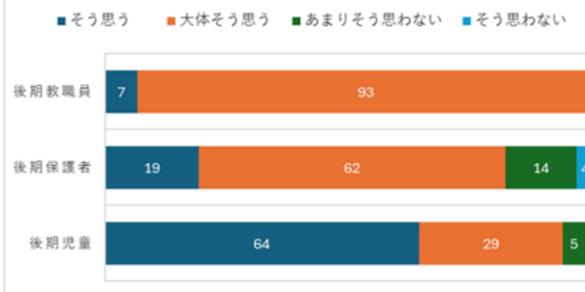
前期と比べると後期は、児童で「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が高くなっています。人の話を聞くことは、話し手のことを大切に思うことにもつながってきます。今後も、最後まで人の話が聞けるよう、日々の学校生活や学習の中で取り組んでいきます。

## ④ 自分の思いや考えを話している



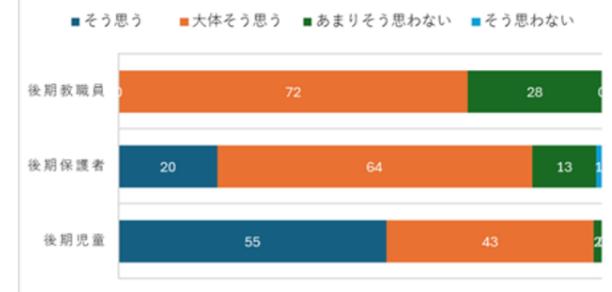
後期は「あまりそう思わない」「そう思わない」を回答している児童が17%います。自分の思いや考えを話すことができていると感じていることが分かります。教職員も前期より後期の方ができていないと感じていることが分かります。今後も引き続き、自分の思いや考えを話しやすいよう安心できる学級経営をしていきます。

## ⑤ わかるまで学習に取り組んでいる



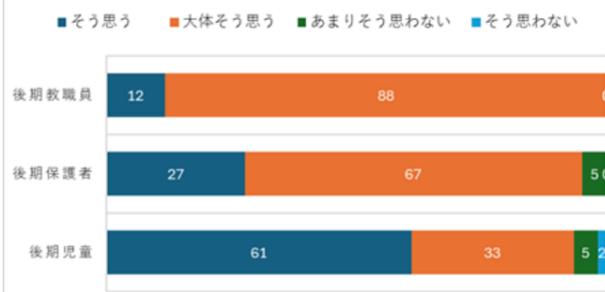
前期と比べると後期は、保護者、教職員共に「そう思う」「大体そう思う」の割合が増えています。今後も粘り強く理解できるまで学習に取り組めるよう、授業中や補充の時間などの個別最適な指導をしていきます。引き続き、保護者の方からも家庭学習での声かけなどのご協力をよろしくお願いします。

## ⑥ 気持ちのよいあいさつをしている



前期と比べると後期は、児童、保護者共に「そう思う」「大体そう思う」と回答した合計の割合が増えています。その反面、教職員は「大体そう思う」の割合が低くなりました。気持ちのよい挨拶とは、「自分から先に」「元気な声で」「笑顔で」挨拶をする姿です。今後も、児童会の取組と合わせて挨拶の輪を全校に広めていきます。

## ⑦ 自分も人も大切にしている心がある



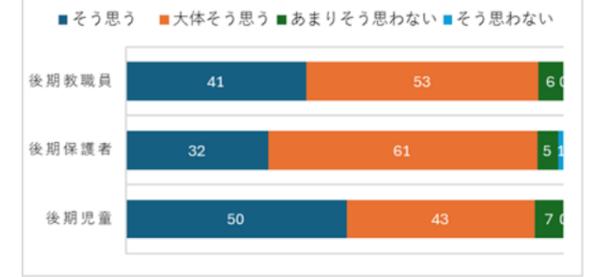
前期と比べると後期は、保護者、教職員の回答で「そう思う」「大体そう思う」と回答した合計の割合が増えています。人のことを大切にするには、自分の心が満たされていることが大事だと考えます。家庭だけでなく学校でも自己肯定感を高められるよう、成果だけでなく、過程を見取り、ほめ、子どもたちが、自信をもてるようにしていきます。

## ⑧ 安全に気をつけて生活している



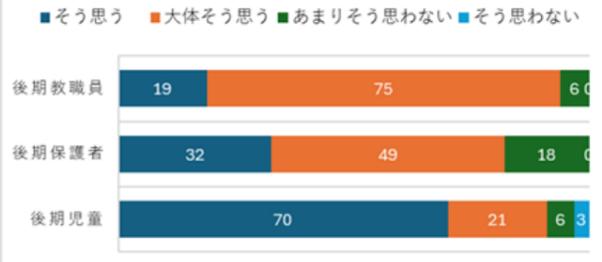
前期と比べると後期は、児童の回答で「そう思わない」の割合が低くなりました。ただ、教職員の回答では「そう思わない」の割合が高くなりました。安全ノートの活用や避難訓練などを通じて、成果も見られますが、廊下を走る、上靴のかかとを踏んでいる、運動場での遊び方などで気になる場面があり、今後も指導していきます。

## ⑨ 学校や社会のルールを守っている



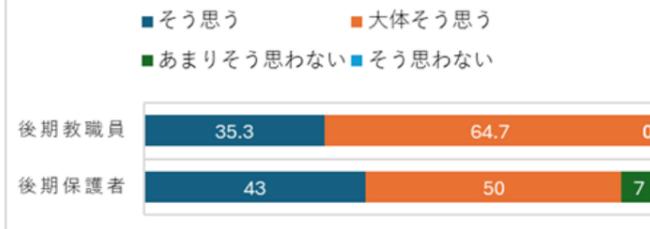
前期と比べると後期は、教職員の回答で「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計の割合が低くなりました。学校のきまりやルールを守っていると感じている教職員が増えたことが分かります。それには、特に休み時間に運動場で遊んでいる児童が、終了時刻になる前に教室に戻っていく姿が見られました。ただ、⑧でも述べたように、「廊下を走る」「上靴のかかとを踏んでいる」などは見受けられますので、今後も意識づけをしていきます。

⑩地域の行事など地域の学習に興味をもっている



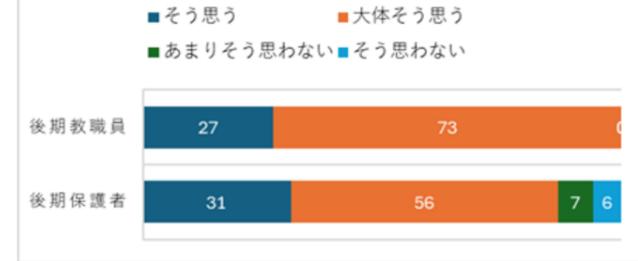
前期と比べると後期は、児童、保護者、教職員とも「そう思う」「大体そう思う」の割合が低くなりました。京極学習への興味関心が低くなってきていることや都合がつかず地域の行事などに参加できない児童が増えてきていることが考えられます。児童、保護者、地域、学校と一緒に活動できる機会が増えていきますよう、今後ともご協力よろしくお祈いします。

⑪学校は、児童のがんばりやよいところを認めている



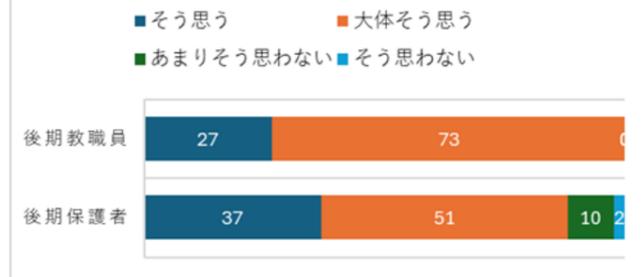
前期と比べると後期は、保護者の回答で「そう思う」「大体そう思う」と回答した合計の割合が少し高くなりました。学習中だけでなく、係活動や委員会活動、学校行事、また、清掃時間など学校生活でのあらゆる場面で子どもたちが頑張っているところやよいところをほめ、教職員で情報共有できるようシートの記入もしています。今後も引き続き、取り組んでいきます。

⑫学校は、困りごとに気づき、話を聞いたり対応したりしている



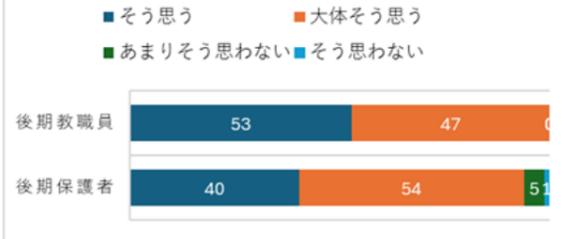
前期と比べると後期は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計の保護者の回答が3%高くなりました。今後も、保護者からの相談や要望があった時に適切かつ迅速に対応できるように、教職員間での情報共有や相談などが確実に実行できるように取り組んでいきます。

⑬学校の様子がわかる



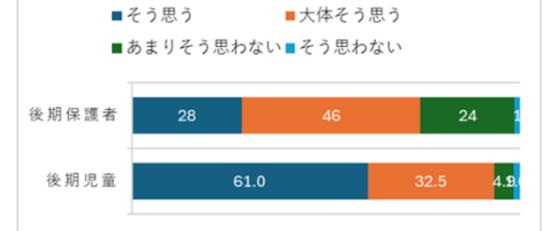
前期と比べると後期は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計の回答が2%高くなりました。学校は、下半期以降、学校行事や学習内容などについて別紙でお知らせしたり、学校だより特別号をすぐ配信したりするなど、学校での様子が保護者の皆様に分かるようにしてきましたが、ホームページの掲載回数を増やすなどしていきます。

⑭学校は、意欲や過程をほめている



前期と比べると後期は、保護者の回答で「そう思う」「大体そう思う」の合計の割合が高くなりました。子どもたちの取り組んでいる過程を認め、ほめることで、次への意欲とつながっていくことと考えています。今後も、意欲的に取り組んでいけるよう、どの学習、取組でも振り返りを大切に、次時への学習や取組につなげていきます。

⑮デジタル機器の使用ルールを決めている/守っている



保護者、児童の回答は、前期、後期共に同じでした。学校では、2学期にゲストティーチャーに来ていただき、4、5、6年生を対象に情報モラル教室を行いました。また、人権参観・懇談会で情報モラルに関する学習を参観していただいたり、懇談会で保護者の方と話し合ったりする機会を設けました。今後とも、家庭と学校が連携をしていく必要があると思いますので、ご協力、よろしくお祈いします。

自由記述欄 ●の意見は、要望や改善が必要と思われるものです。

→はその意見に対し、学校としての対策、考えを記しています。

- ・いつも丁寧に対応くださりありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。最終学年になり、自分たちで決めたい気持ちも大きくなるこの歳に、担任の先生初め、色々な場面で相談し解決する機会を作っていただいたと聞いています。自分たちの意見を話し合い実現していく経験は、とても大切だと感じます。お時間ない中、その機会をたくさん作っていただいたことに感謝しています。今後も、子どもたちの想いや願いが形となって現れる、学校であって欲しいと願います。
- 14についてです。友達との間のトラブルに関して事なかれ主義であります。  
→今後も友達との間でトラブルが起こった際には、双方の話を聞き、お互いの思いを伝え合うようにしていきます。また、どちらのご家庭にもご連絡して、学校と家庭で連携をはかるようにしていきます。
- 自分の子供の事は答えられるが、お子たちと言われると分からないことが多すぎます。  
→自分のお子さまのことについてのみお答えくだされば結構です。
- 低学年のうちは、学校での楽しい出来事をよく話してくれますが、高学年になると嫌なことや困ったことがあっても親が気づきにくくなる場合があります。もし何か気になることがあれば、些細なことでも教えていただくと助かります。  
→今後も子どもたちのことで、気になることがありましたら、家庭にご連絡をするようにいたします。

学校運営協議会のみなさんより

令和8年3月5日(木)に第3回学校運営協議会理事会を開き、後期学校評価アンケート結果をもとにご意見をいただきました。一部抜粋してまとめました。

- ・これからは、個別、個性に合わせていけないと感じている。単なる学習だけでなく、地域と生の学習をしていくことが大切であると思う。
- ・6年生が朝のあいさつ運動を自分たちで進んで行ってきて、次の学年に引き継いでいこうとしていたのがすばらしい。よいことはどんどん広げてほしい。
- ・地域が、保護者の成長を見守ることが大切。保護者の心が安定することで、子どもたちの健やかな体と心を育てることにつながると思う。
- ・これからも、子どもたちには、京極学区の地域のことが好きで、地域を大切にしていってほしい。
- ・学校評価の内容も含めて、刷新していかないと、そして、学校の役割を変えていけないといけないのかもしれない。



貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後も、ご家庭と地域と学校が手を取り合って、子どもたちを育てていきたいと思ひます。次年度もどうぞよろしくお祈い申し上げます。